

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシーF 2											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	江口靖二			実務 経験	有	職種	放送業務				
授業概要											
映像作品のドラマ、バラエティ、ドキュメンタリーなど構成と演出について学びます。											
到達目標											
制作（演出・ディレクター）と技術の知識だけでなく、プロデュースの観点からお金を生み出す側を知ることで、番組、テレビ局全体の構造を俯瞰できるようになることを目指す。											
授業方法											
担当する講師の現場での経験を踏まえて、できる限り実例を交えて授業を展開します。業界を目指す人達にとって興味深い内容になるように留意します。授業展開によってはワークショップを行い、課題提出もあります。											
成績評価方法											
学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
パワーポイントの投影画像を資料として配布する。毎回テーマを決めて映像作品（ドラマやドキュメンタリー等）を見せる。											
回数	授業計画										
第1回	前期でここだけは理解すべきポイントを理解する（復習）IBC2024 最新技術に興味関心を持つ										
第2回	インカメラVFXの内容と仕組みを理解するボリュメトリックキャプチャの内容と仕組みを理解するフルトラの内容と仕組みを理解する										
第3回	OBMとは何か、ゲームと同じく、完パケないコンテンツを知るリニアとノンリニアのコンテンツの違いを知る欧州から先行する放送のOBM化を理解する										

第4回	360度映像について、仕組みと制作方法を理解するXRの意味とユースケースを理解する MRまたはバーチャルとリアルの融合について知る
第5回	ライブビューイングのポイントを理解するステージなどでの映像路用やLEDディスプレイについて理解するライブの持つ意味、今この瞬間に同時に体験する意味を理解する
第6回	映像的に見たスマートフォンの本質を理解するスマートフォン万能ではない、スマートフォンの「異常さ」を理解する次世代のスマートフォン、次のスマートフォンの（ようなもの）を想像する
第7回	メディアの影響力を理解するSNSの影響を理解する当事者になった場合に自分は「NO」と言えるか
第8回	InterBEEでの展示InterBEEでのセッション最新技術に興味関心を持つ
第9回	映像制作にAIがもたらす影響撮影、美術、ポストプロにもたらす影響最新状況を理解する
第10回	生成AIによる制作事例と実演実際のツールを利用して、動画制作や台本制作を実演する
第11回	ドキュメンタリー映画の制作プロセスを理解する臨機応変な対応力の必要性を理解する
第12回	著作権の考え方を理解する著作隣接権の内容を理解し、実務処理を理解する自分の権利を守る立場を理解する
第13回	CESの展示CESのセッション最新技術に興味関心を持つ
第14回	後期でここだけは理解するべきポイントを理解する（試験対策）
第15回	後期試験の振り返り映像業界に来られる皆さんへ